

「国立獣医系4大学群による欧米水準の獣医学教育実施に向けた連携体制の構築」

(帯広畜産大学・北海道大学・山口大学・鹿児島大学)

事業概要

国際的・社会的にリーダーとして活躍する獣医師の養成、我が国の獣医学教育の水準の向上という観点から、2つの共同獣医学課程の一層の高度化に取組み、北日本と南日本の地域特性を活かした教育プログラムの開発と相互利用、国際認証の取得に向けた戦略的連携を推進するとともに、これを礎に、獣医学教育改革を先導する。

実績・進捗状況

4大学連携体制の整備

- ・平成25年4月に**4大学連携獣医学教育改革協議会**を設置
- ・認証情報の収集・共有等により、平成32年度のEAEVE認証取得に向けた準備が着実に進捗
- ・連携体制のもと、EAEVE総会へ継続的な参加を図り、認証取得に向けた欧州との協力関係を構築

EAEVE認証取得に向けての調査・研究

- ・平成25年4月、獣医学教育国際認証推進室及び獣医学教育改革室を設置し、認証取得に向け共同教育課程の**英文カタログ**と**自己評価書**を作成
- ・平成26年度、**欧州協力校（EAEVE認証校）**による**非公式事前診断**を実施し、臨床教育の充実等指摘事項に基づく改善方を推進

教職員及び教育設備の整備

- ・平成26年度までに各大学の強み・機能に応じた人員体制の整備、教育設備の導入を図り、欧米の先進教育に対応できる環境を構築
- ・Hands-on教育のための**実習教育の拠点形成**を推進



教育連携

- ・平成26年度までに各大学で地域性と特色ある教材を蓄積し、自学自習教材を拡充
- ・**Glexa**（eラーニングコンテンツ共有システム）を4大学に設置しそれぞれで作成したデジタル教材を連携間で共有し、学生の自学自習の教育体制を構築

特筆すべき成果

- 獣医学教育の高度化に取り組む我が国の姿勢がEAEVEから高い評価（**EAEVEが最大限の支援**）
- 互いの教育資源を有効に活用し合う**共同教育課程制度**に高い評価（欧州において活用・普及）
- 日本獣医学会、他大学等において、**欧米認証取得の必要性等について広く情報提供**（H25～）
- **日本獣医学会シンポジウムにEAEVE会長を招聘し、EAEVEの役割等の講演を実施**（H27）
- **バンコクで開催されるアジア獣医学教育会議において、EAEVE認証取得に関する講演を実施**（H27）

「国立大学改革プラン」関連

- 【社会の変化に対応した教育研究組織づくり】
- 学長のリーダーシップの下、獣医学教育に対する人員・予算・設備等の重点資源配分
- 【国際水準の教育研究の展開】
- 獣医学教育課程の高度化
- アジア評価基準の構築

今後の展開

- ・平成27年度以降、非公式事前診断で指摘された問題点を解消
- ・4大学でフィールド実地教育の充実及びフィールド教育のコンテンツ化を図り、地域性を活かした教材を蓄積・配信
- ・平成30年度には欧州（EAEVE）公式視察団を招聘し認証申請の事前診断を実施

平成32年度 欧州認証取得

亜熱帯・温帯地域教育拠点

山口大学

伴侶動物臨床・公衆衛生分野強化

連携強化機能分化

鹿児島大学

産業動物臨床・家畜衛生分野強化

特筆事項

【国際連携推進】

- ・山口大学とサラゴサ大学等
- ・鹿児島大学と米国ジョージア大学等

寒冷地域教育拠点

北海道大学

伴侶動物臨床・ライフサイエンス分野強化

連携強化機能分化

帯広畜産大学

産業動物臨床・公衆衛生分野強化

特筆事項

【国際連携推進】

- ・帯広畜産大学と米国J-礼大学等
- ・北海道大学と英国エジンバラ大学等